

平成 26 年度以前入学者

令和 2 年 3 月 25 日

教養学部前期課程

留年等により 2021 年度進学選択に参加する場合の 平均点計算・評価尺度等について

平成 26 年度以前入学者が留年等により 2021 年度（2020 年実施）進学選択に参加する場合、進学選択に用いる平均点計算や評価尺度（重率・履修点等を含む）が入学時に配付された『履修の手引き』から変更されます。

成績等の評価は「基本平均点」で行うことを標準としますが、進学単位により、進学単位が指定する科目の成績に重率をかける場合、指定された科目を修得したことに対して履修点を加点する場合、または「基本平均点」以外の評価尺度により行う場合があります。詳細は別紙 B 「平成 26 年度以前入学者が 2021 年度進学選択に参加する場合に用いられる評点」を参照してください。

なお、別表の科目名は旧カリキュラムの科目名ですので、『平成 26 年度以前の入学者のための履修の手引き（補遺）』の表 4 「旧カリキュラム・新カリキュラム新旧科目対照表」で対応する科目を確認してください。

添付：

別紙 B 「平成 26 年度以前入学者が 2021 年度進学選択に参加する場合に用いられる評点」

別表 1 B 「学部・学科別 指定平均点一覧（平成 26 年度以前入学者）」

別表 2 B 「学部・学科別 重率・履修点一覧（平成 26 年度以前入学者）」

※「学部・学科別 面接・志望理由書一覧」は 2021 年度進学選択の手引きを参照してください。

参考「留年等により 2021 年度進学選択に参加する学生への注意事項」

別紙 B 平成26年度以前入学者が2021年度進学選択に参加する場合に用いられる評点

(1) 評点の算出方式

進学選択における成績等の評価は「基本平均点」を用いて行うことを標準とするが、一部の進学単位においては、それとは異なる「指定平均点」を用いる。これらの平均点は、いずれも2S2ターム・2Sセメスター（第3学期）までに履修した単位数と成績から算出される。

A. 基本平均点

「基本平均点」は、次の式で算出される。

$$\text{「基本平均点」} = \frac{\text{各科目の（評点} \times \text{単位数} \times \text{重率）の総計}}{\text{各科目の（単位数} \times \text{重率）の総計}}$$

「基本平均点」の計算に算入される科目、単位、及び重率（単位あたりの重み）は以下のとおりである。

文科一類・二類・三類生

- 1) 外国語科目
 - 既修外国語（文科一・二類） 10単位（重率1）
 - 初修外国語（文科一・二類） 14単位（重率1）
 - 既修外国語（文科三類） 12単位（重率1）
 - 初修外国語（文科三類） 14単位（重率1）
- 2) 情報（文科各類） 2単位（重率1）
- 3) 身体運動・健康科学実習（文科各類） 2単位（重率1）
- 4) 基礎演習（文科各類） 2単位（重率1）
- 5) 社会科学（文科一・二類） 科類の要件 を含め成績上位 10単位（重率1）
- 社会科学（文科三類） 科類の要件 を含め成績上位 4単位（重率1）
- 6) 人文科学（文科各類） 科類の要件 を含め成績上位 4単位（重率1）
- 7) 方法基礎（文科三類） 2単位（重率1）(注1)
- 8) 総合科目（文科各類） 系別の単位取得条件 を含め成績上位 16単位（重率1）
- 9) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに単位取得した基礎科目 （重率0.1）
- 10) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した総合科目 （重率0.1）

(注1) 平成23年度以前入学者は4単位。

科類の要件 / 単位取得条件を参照のこと。各要件に付されている注部分も含まれる。

理科一類・二類・三類生

- 1) 外国語科目
 - 既修外国語（理科各類） 10単位（重率1）
 - 初修外国語（理科各類） 8単位（重率1）
 - 2) 情報（理科各類） 2単位（重率1）
 - 3) 身体運動・健康科学実習（理科各類） 2単位（重率1）
 - 4) 基礎実験（理科各類） 4単位（重率1）
 - 5) 数理科学（理科各類） 12単位（重率1）
 - 6) 物質科学（理科各類） 10単位（重率1）
 - 7) 生命科学（理科一類） 2単位（重率1）
 - 生命科学（理科二類） 4単位（重率1）
 - 生命科学（理科三類） 6単位（重率1）
 - 8) 総合科目（理科各類） 系別の単位取得条件 を含め成績上位 16単位（重率1）
 - 9) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した総合科目 （重率0.1）
- 単位取得条件を参照のこと。各要件に付されている注部分も含まれる。

B. 指定平均点

進学単位によっては、「基本平均点」とは異なる算出方式（「指定平均点」）を用いる場合がある。「指定平均点」を用いる進学単位、及び詳細については、別表1B「学部・学科別指定平均点一覧（平成26年度以前入学者）」を参照すること。

(注) 2021年度進学選択（2020年実施）においては、教養学部（教養学科超域文化科学分科）、工学部（全学科）、農学部（全専修）が「指定平均点」を用いる。

前記において、成績評価が不可の科目はその評点が、欠席または未履修の科目は0点が、「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。

合格または不合格の評価による科目（主題科目、文科生が「基礎実験」を履修した場合は、「基本平均点」または「指定平均点」に算入されない。

総合科目について、重率「1」となる最終順位の科目が2単位科目で重率「1」の対象内外にまたがる場合は、2単位のうち1単位が重率「1」、1単位が重率「0.1」で「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。

総合科目「・・・一般」の単位について、重率「1」の16単位の中に算入できるのは、1系列から2単位まで、計4単位までである。

総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」及び「スポーツ・身体運動実習」について、「基本平均点」または「指定平均点」に重率「1」で算入されるのは合わせて2単位まで、重率「0.1」で算入されるのは1単位までである。

第3学期（2Sセメスター）開講基礎科目の外国語、生命科学（人間総合科学）の試験を不測の事態により欠席した場合、進学処置願の手続きをすれば進学選択に限って、仮の点を与えて「基本平均点」または「指定平均点」を計算する。

2年次終了時に留年した学生が、2Aセメスター（2A1ターム、2A2タームを含む）に履修した基礎科目、総合科目の単位は、次年度の進学選択の際、「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。

（注）留年直後の2Sセメスター（2S1ターム、2S2タームを含む）に履修した科目の成績も「基本平均点」または「指定平均点」に算入される。

留年・降年した学生が留年・降年以前に履修科目登録していた総合・主題科目のうち、成績評価が「欠席」の科目は「基本平均点」または「指定平均点」に算入されない。

(2) 指定重率・履修点

進学単位によっては、成績等の評価について個別に指定重率、履修点、またはその両方が適用される場合がある。これらは、「基本平均点」または「指定平均点」を基として次のいずれかの変更を行ったものである。

- 1) 当該進学単位が指定する科目の成績にそれぞれ指定された重率をかけて加重平均点を算出する。（指定重率）
- 2) 当該進学単位が指定する科目を修得したことに對し、指定された履修点を加算する。（履修点）
- 3) 当該進学単位が指定する科目の成績にそれぞれ指定された重率をかけて加重平均点を算出し、さらに、当該進学単位が指定する科目を修得したことに對し、指定された履修点を加算する。（指定重率及び履修点）

指定重率の対象となる科目は、当該進学単位を志望する場合、「(1) 評点の算出方式」及び別表1B「学部・学科別指定平均点一覧（平成26年度以前入学者）」の記載にかかわらず、指定重率が適用される。

指定重率及び履修点を用いる進学単位、及び詳細については、別表2B「学部・学科別重率・履修点一覧（平成26年度以前入学者）」を参照すること。

(3) 面接・志望理由書等

進学単位によっては、第二段階、第三段階において面接や志望理由書等、成績以外の評価尺度を用いる場合がある。面接・志望理由書等を評価尺度として設定する進学単位、及び詳細については、「2021年度進学選択の手引き」を参照すること。

なお、これらの評価尺度（上記(1)～(3)）は2021年度進学選択（2020年実施）に適用され、それ以降は変更となる場合もあるので、教務課前期課程ホームページや掲示板で確認すること。

(別表1B)

学部・学科別 指定平均点一覧 (平成26年度以前入学者)

本表には「基本平均点」の算出方式等と異なる部分のみが記載されている。それ以外は、「別紙B『平成26年度以前入学者が2021年度進学選択に参加する場合に用いられる評点』(1)評点の算出方式 ①～⑨」の記載事項が適用される。

学部	学科等	対象となる進学選択の段階	平均点算出方式の詳細																																																
教養	超域文化科学	第二段階 第三段階	<p>「超域文化科学分科第二段階・第三段階指定平均点」の計算に算入される科目、単位、及び重率(単位あたりの重み)は、以下のとおりである。</p> <p>「超域文化科学分科第二段階・第三段階指定平均点」</p> $= \frac{\text{全履修科目※の(評点} \times \text{単位数} \times \text{重率} \times \text{)の総計}}{\text{全履修科目※の(単位数} \times \text{重率} \times \text{)の総計}}$ <p>※ 合格・不合格のみの評価による科目は含めない。 * 成績評価が評点で行われる全履修科目のうち、評点の高いものから上位6割の科目の重率を「1」、その他の科目の重率を「0.1」とする。「上位6割」の科目の決定にあたり、科目数の小数点以下は四捨五入する。</p>																																																
工	全学科	第一段階 第二段階 第三段階	<p>「工学部指定平均点」は、次の式で算出される。</p> <p>「工学部指定平均点」</p> $= \frac{\text{各科目の(下記換算表に基づく工学部評点} \times \text{単位数} \times \text{重率)の総計}}{\text{各科目の(単位数} \times \text{重率)の総計}}$ <p>評点換算表</p> <table border="1"> <tr> <td>評点</td> <td>0</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td></td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> <td>∫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>49</td> <td>54</td> <td>59</td> <td>64</td> <td>69</td> <td>74</td> <td>79</td> <td>84</td> <td>89</td> <td>94</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>工学部評点</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>「工学部指定平均点」の計算に算入される科目、単位、及び重率(単位あたりの重み)のうち、「基本平均点」と異なる点は以下のとおりである。</p> <p>文科一類・二類・三類生 (中略) 9) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに単位取得した基礎科目 (重率0.1または1) (注2) 10) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した総合科目 (重率0.1または1) (注2) (中略) (注2)算入することにより「工学部指定平均点」が大きくなる場合に限り重率1。小さくなる場合は重率0.1。</p> <p>理科一類・二類・三類生 (中略) 9) 上記以外で2S2ターム・2Sセメスターまでに履修科目登録した総合科目 (重率0.1または1) (注1) (中略) (注1)算入することにより「工学部指定平均点」が大きくなる場合に限り重率1。小さくなる場合は重率0.1。</p> <p>「工学部指定平均点」について、別紙B(1)②～⑨の記載事項と異なる点は以下のとおりである。</p>	評点	0	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95		∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫		49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	100	工学部評点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
評点	0	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																								
	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫																																								
	49	54	59	64	69	74	79	84	89	94	100																																								
工学部評点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																								

			<p>(中略)</p> <p>④ 総合科目について、重率「1」となる最終順位の科目が2単位科目で重率「1」の対象内外にまたがる場合は、2単位のうち1単位が重率「1」、1単位が重率「0.1または1」で「工学部指定平均点」に算入される。</p> <p>(中略)</p> <p>⑥ 総合科目D系列「スポーツ・身体運動実習」及び「スポーツ・身体運動実習Ⅱ」について、「工学部指定平均点」に重率「1」で算入されるのは合わせて2単位まで、重率「0.1または1」で算入されるのは1単位までである。</p> <p>(中略)</p>
	システム創成A システム創成B システム創成C	第二段階	<p>「システム創成学科第二段階指定平均点」は、次の式で算出される。</p> <p>「システム創成学科第二段階指定平均点」 = 「工学部指定平均点」×取得単位数(上限90単位)※</p> <p>※ 取得単位数(上限90単位)には、合格・不合格のみの評価による科目を含む。</p> <p>その他は、「工学部指定平均点」の記載と同様である。</p>
農	全専修	第一段階 第三段階	<p>「農学部第一段階・第三段階指定平均点」は、次の式で算出される。</p> <p>「農学部第一段階・第三段階指定平均点」 = 「基本平均点」×取得単位数(上限90単位)※</p> <p>※ 取得単位数(上限90単位)には、合格・不合格のみの評価による科目を含む。</p>

(別表 2 B)

学部・学科別 重率・履修点一覧 (平成26年度以前入学者)

1. 重率

学部	学科等	対象となる 進学選択の段階	重率をかける科目等
教養	地域文化研究	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目 (既修外国語) の成績上位 4 単位、 及び基礎科目 (初修外国語※) の成績上位 4 単位 の重率を「1.5」とする。 ※外国語を「既修・既修」の組合せで履修している場合は、 初修外国語相当として入学時に選択した外国語。
	総合社会科学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目 (社会科学) の成績上位 8 単位までの重率を「2」とする。 (履修登録した科目のみを対象とし、8 単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位の上に重率をかける。) 総合科目について、下記の大科目に属する科目の 成績上位 4 単位の重率を「2」とする。 A【現代哲学】【思想史・科学史】 B【国際関係論】【歴史世界論】 C【現代法】【現代社会論】【相関社会科学】 【公共政策】 F【統計学】 (履修登録した科目のみを対象とし、4 単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位の上に重率をかける。)
	数理自然科学	第一段階 第二段階 第三段階	<理科全類> 基礎科目 (情報)、基礎科目 (基礎実験)、 基礎科目 (数理科学)、基礎科目 (物質科学)、 基礎科目 (生命科学) の成績上位 8 単位の重率を「1.5」とする。
	物質基礎科学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目 (基礎実験)、基礎科目 (数理科学)、 基礎科目 (物質科学)、基礎科目 (生命科学) 総合科目 E「振動・波動論、解析力学、相対論、 量子論、統計物理学、反応化学、 化学平衡と反応速度、 現代生命科学 I (文科学)、 現代生命科学 II (文科学)、 自然現象とモデル、 分子システムとして見た自然界、 生物物理から見た生命像」 のうち成績上位 8 単位の重率を「2」とする。 (履修登録した科目のみを対象とし、8 単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位の上に重率をかける。)
	統合生命科学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目 (物質科学)「力学 A、力学 B、熱力学、 化学熱力学、物性化学」 基礎科目 (生命科学)「生命科学、生命科学 I、 生命科学 II」 総合科目 E「振動・波動論、反応化学、 化学平衡と反応速度、物質化学 I (文科学)、 動物科学、植物科学、現代生命科学 I (文科学)、 現代生命科学 II (文科学)、 生物物理から見た生命像」 の成績上位 8 単位の重率を「1.5」とする。 (履修登録した科目のみを対象とし、8 単位に満たない場合は、 履修登録した科目の単位の上に重率をかける。)

教養 (続き)	国際日本研究 (PEAK後期)	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目(既修外国語)「英語」の全科目の重率を「2」とする。
工	社会基盤学A 社会基盤学B 社会基盤学C 建築学 機械工学A 機械工学B 航空宇宙学 精密工学 電子情報工学 電気電子工学 応用物理・物理工学 計数工学・数理/システム情報 マテリアル工学A マテリアル工学B マテリアル工学C 応用化学 化学システム工学 システム創成A システム創成B システム創成C	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目「基礎演習」の2単位の重率を「0(ゼロ)」とする。
	計数工学・数理/システム情報	第二段階 第三段階	基礎科目(数理科学)「数学Ⅰ、数学Ⅱ」 基礎科目(物質科学)「力学、電磁気学」 の重率を「2」とする。 基礎科目「情報」 基礎科目(物質科学)「熱力学または化学熱力学、 構造化学、物性化学」 基礎科目(生命科学)「生命科学、生命科学Ⅰ、 生命科学Ⅱ」 の重率を「1.5」とする。
	化学生命工学	第二段階 第三段階	<理科一類> 基礎科目(物質科学)「熱力学、構造化学、物性化学」 基礎科目(生命科学)「生命科学」 の計8単位の重率を「2」とする。 <理科二・三類> 基礎科目(物質科学)「化学熱力学、構造化学、 物性化学」 基礎科目(生命科学)「生命科学Ⅰ」 の計8単位の重率を「2」とする。
理	数学 情報科学 物理学 天文学 地球惑星環境学 化学 生物学 生物情報科学	第一段階 第二段階 第三段階	要求科目の重率は全て「1」とする。
	地球惑星物理学	第一段階 第二段階 第三段階	基礎科目(数理科学)「数学Ⅰ、数学Ⅱ」 基礎科目(物質科学)「力学、電磁気学、熱力学または 化学熱力学」 の計14単位の重率を「2」とする。

理 (続き)	生物化学	第一段階 第二段階	理科生については、総合科目EおよびFの成績上位6単位までの重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、6単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
農	応用生物学 緑地環境学	第二段階	基礎科目の成績上位16単位、 及び総合科目の成績上位4単位の重率を「5」とする。
	森林生物科学 森林環境資源科学	第二段階	基礎科目と総合科目の成績上位20単位の重率を「5」とする。
	水圏生物科学	第二段階	<理科全類> 基礎科目(基礎実験)、基礎科目(数理科学)、 基礎科目(物質科学)、基礎科目(生命科学) の成績上位6単位、 及び総合科目A～Fの成績上位6単位の重率を「5」とする。 (総合科目A～Fについて、単位取得した科目のみを対象とし、6単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
	生物素材化学 木質構造科学	第二段階	<理科全類> 基礎科目(基礎実験)、基礎科目(数理科学)、 基礎科目(物質科学)、基礎科目(生命科学) の成績上位10単位、 及び総合科目D・E・Fの成績上位4単位の重率を「5」とする。 (総合科目D・E・Fについて、単位取得した科目のみを対象とし、4単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
	農業・資源経済学	第二段階	<文科全類> 基礎科目(社会科学)「経済Ⅰ、経済Ⅱ」 の2科目4単位の重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、4単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。) <理科全類> 総合科目C「政治経済学、現代経済理論、経済政策」 の3科目6単位の重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、6単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
	フィールド科学	第二段階	基礎科目の成績上位10単位の重率を「5」とする。
	国際開発農学	第二段階	基礎科目(既修外国語・初修外国語)と 総合科目B(国際コミュニケーション)「外国語初級、 外国語中級、外国語上級」のうち 成績上位20単位の重率を「2」とする。 (単位取得した科目のみを対象とし、20単位に満たない場合は、単位取得した科目のみに重率をかける。)
薬		第一段階 第二段階 第三段階	要求科目の重率は全て「1」とする。
医		第一段階 第二段階 第三段階	要求科目の重率は全て「1」とする。

※「成績上位○単位」とある場合、「成績上位○単位」の中に1単位科目を含み、○単位目が2単位科目となる場合、2単位のうち1単位に重率をかけ、もう1単位には重率をかけない。

2. 履修点とその加点方法

学部	学 科 等	対象となる 進学選択の段階	履修点を加算する科目等
教養	国際日本研究 (PEAK後期)	第一段階 第二段階 第三段階	主題科目「全学自由研究ゼミナール(PEAK)(学術フロンティア講義)(Introduction to Japan in East Asia)」の修得に対し履修点「1点」を加点する。
工	機械工学A 機械工学B 精密工学 電子情報工学 電気電子工学 マテリアル工学A マテリアル工学B マテリアル工学C 応用化学 化学システム工学	第一段階 第二段階 第三段階	総合科目D「工学概論、環境・エネルギーと工学、情報技術論、物質工学」の修得に対し、いずれか1科目を履修点として「0.1点」を加点する。
	航空宇宙学	第二段階 第三段階	総合科目F「図形科学Ⅰ、図形科学Ⅱ」の修得に対し、いずれか1科目を履修点として「0.1点」を加点する。
理	地球惑星物理学	第一段階 第二段階 第三段階	総合科目E「振動・波動論、統計物理学、惑星地球科学Ⅰ、惑星地球科学Ⅱ、惑星地球科学Ⅰ(文科生)、惑星地球科学Ⅱ(文科生)、物質・生命一般(地球惑星物理学入門)※」の修得に対し履修点として各「1点」2科目最大2点を加点する。 ※「物質・生命一般」については、平成27年度以降に開講されているカッコ内記載の総合科目が本科目に読み替えられる場合に限る、履修点の対象となる。
	地球惑星環境学	第二段階	<理科学全類> 総合科目D「地球環境論、環境物質科学、生態学、社会環境論、人間・環境一般(水と土の環境科学、放射線環境科学)※」 総合科目E「動物科学、植物科学、進化学、惑星地球科学Ⅰ、惑星地球科学Ⅱ、惑星地球科学実習、宇宙科学Ⅰ、宇宙科学Ⅱ、自然現象とモデル、分子システムとして見た自然界、物質・生命一般(分子生命科学、人類科学、地球惑星物理学入門、地球惑星環境学入門、微生物の科学、海の生命科学)※」 <文科学全類> 総合科目D「地球環境論、環境物質科学、生態学、社会環境論、人間・環境一般(水と土の環境科学、放射線環境科学)※」 総合科目E「物理科学Ⅰ(文科生)、物理科学Ⅱ(文科生)、化学平衡と反応速度、物質化学Ⅰ(文科生)、動物科学、植物科学、進化学、惑星地球科学実習、惑星地球科学Ⅰ(文科生)、惑星地球科学Ⅱ(文科生)、宇宙科学Ⅰ(文科生)、自然現象とモデル、分子システムとして見た自然界、物質・生命一般(分子生命科学、人類科学、地球惑星物理学入門、地球惑星環境学入門、微生物の科学、海の生命科学)※」 の修得に対し履修点として各「0.5点」4科目最大2点を加点する。 ※「人間・環境一般」及び「物質・生命一般」については、平成27年度以降に開講されているカッコ内記載の総合科目がこれらの科目に読み替えられる場合に限る、履修点の対象となる。

理 (続き)	生物化学	第一段階 第二段階	総合科目E「物質・生命一般（分子生命科学、 現代生物学）※」 の修得に対し履修点として各「1点」2科目最大2点を 加点する。 ※「物質・生命一般」については、平成27年度以降に開講されて いるカッコ内記載の総合科目が本科目に読み替えられる場合に 限り、履修点の対象となる。
	生物学	第一段階 第二段階	総合科目E「物質・生命一般（現代生物学）※」 の修得に対し履修点として「2点」を加点する。 ※「物質・生命一般」については、平成27年度以降に開講されて いるカッコ内記載の総合科目が本科目に読み替えられる場合に 限り、履修点の対象となる。